

NO.154 2009/4

kaihou **ISHIKAWA**

土地家屋調査士



ごあいさつ

地図作成の展望と課題

規則93条ではない調査報告書

石川会の年男

新入会員に聞く!



石川県土地家屋調査士会



土地家屋調査士倫理綱領

1. 使 命

不動産に係る権利の明確化と期し、
国民の信頼に応える。

2. 公 正

品位を保持し、公正な立場で
誠実に業務を行う。

3. 研 鑽

専門分野の知識と技術の向上を図る。

目 次

新しい春に想う 1

石川県土地家屋調査士会 副会長 菅原 博之

地図作成の展望と課題 2

金沢地方法務局 総括表示登記専門官 国近 圭介

規則93条ではない調査報告書 3

ここが地理院だ！ 4

ここが赤れんがだ!! 9

最後は地籍シンポだ!!! 11

写 真 説 明

3月で2歳になった娘です。

父親に似ず大胆な性格のようです。

自分好きで、自分が写った写真を見て「かわいい〜♥」と自画自賛しています。

小松支部 南 知伸



石川会の年男 12

石川会のあべ・れいじ君2009 17

支部だより

七尾支部 18

支部長 高原 渡

金沢支部 20

支部長 村谷 正己

新入会員に聞く8つの質問 21

information・事務局 24



新しい春に想う

石川県土地家屋調査士会

副会長 菅原 博之

また新しい春がめぐってきました。総会の日程も5月22日と決まり、今執行部は予算の編成、事業計画の策定に慌ただしい日々を送っています。誰もが皆、新しい年度は、明るく愉快地に迎えたいと願うものの、証紙の売り上げ動向などから見ても、会員の収益状況は決してよいとは言えない状況にあります。しかし、そんな状況下にあっても着実に成果をあげている会員がいます。与えられた仕事をきっちりと成しとげ、内外の信頼を集め頼りにされている。仕事に対し、人に対し誠心誠意尽くしている。どうすればうまく行くか、依頼者に満足していただけるか、その気持ちが必ず相手に伝わって喜んでいただける。小さな心くぼりの積み重ねが、揺るぎのない信用を築いてゆくものと考えます。閉そく感に被われている昨今ではありますが、こんな時ほど他人の真心、好意が身にしみるのではないかと思います。会員一人ひとりが自らの仕事に一段と誠意を尽くす時、それが今に違いありません。

もう一つ、皆さんに気づいてほしいことがあります。亀田さん、尾崎さん、春木さん、調査士会事務局には3名の女性が働いています。3人の仕事ぶりを直接目にする機会のない方も多いかと思いますが、膨大な量の事務をてきぱきとこなして下さっています。連合会、中部ブロック協議会、もちろん石川会会員の皆様との関連事務、毎日驚くほどの文書のやり取りが行なわれています。さらにこの後総会までの間、仕事量は倍増するのです。普段は誰も気づいていないかもしれませんが、私たちが日常の業務を滞りなく進めて行くに、大きな下支えをされている立役者なのです。

厳しい環境が続く中、厳しい時代であればこそ、改めて足下を見つめ、わが身を省みてみたいものです。

地図作成の展望と課題

金沢地方法務局

総括表示登記専門官 国近 圭介

平成20年度の登記所備付地図作成作業として金沢市本多町地区で実施してきた地図作成作業は、当初の作業工程計画より1月ほど遅れているものの、地図作成作業の成果を登記記録に反映させる職権登記等の収束作業に入っています。

本多町地区は、これまで金沢地方法務局が地図を作成してきた地区と異なり、住宅が密集する旧来からの市街地であり、土地の確定に困難を極めた箇所もありましたが、平成16年度からの地図作成作業の経験の蓄積を活かし、また、筆界標の設置要員にアルバイトを雇用するなど、作業の効率化を図る新たな手法も導入して成果を上げることができました。

次年度以降の登記所備付地図作成作業は、平成22年度に七尾市袖ヶ江地区（七尾市役所周辺）で計画されており、平成21年度は、事前準備作業である地図混乱の実態調査と基準点設置作業を予定しております。

平成20年度の地図作成作業を通じて、今後も、これまでのように法務局が単独で地区を選定して、大量に人員を動員して地図を作成する方式がいつまで維持できるかという一抹の不安と、この方式が果たして、効果的な地図作成といえるかという疑問を感じました。

地図作成は、地籍調査と連携を図り、より効果的に地図を作成することがその基本方針であります。具体的には、地籍調査実施区域の困難な部分の地図作成を法務局が担当する。あるいは、地籍調査実施区域に連続した区域で地図を作成して地図が整備される面積を効果的に拡大する等であります。

しかしながら、現実には、地籍調査実施機関である市町と協議して、法務局が地図を作成する地区を選定している訳ではなく、また、地籍調査事業に法務局が直接関わっていくケースも極めてまれであり、とても連携がとれているとは言い難い実情にあります。

平成22年度の七尾市における地図作成作業では、七尾市と連携を図りつつ地図を作成して、平成23年度以降に地図作成地区に連続した区域で、七尾市が地籍調査を実施するよう強くはたらきかけていきたいと考えています。

将来的に法務局の地図作成の規模や方法に変化が生じたとしても、法務局の地図作成作業は、測量、筆界確認などに極めて高い見識と技術を有する専門家である土地家屋調査士との連携が不可欠であり、今後も、より一層の連携を願っております。

規則93条ではない調査報告書

“つくば+霞ヶ関+市ヶ谷=地理院+赤レンガ+地籍シンポ” 編

会報編集委員がうわさのスポットに潜入調査してまいりましたので、ここにご報告いたします。

まずは茨城県つくば市にある「地図と測量の科学館」：これは国土交通省国土地理院の本院の所在地でいわずと知れた測量界の総本山ともいえるでしょう。

ここにある、日本で唯一？の測量に関する博物館、さらには地理院の敷地内にある数々の設備を見てきました。

次に千代田区霞ヶ関にある法務省旧本館通称「赤レンガ棟」：我々の監督官庁である法務省の旧本館にある「法務史料展示室・メッセージギャラリー」を見学してきました。

また、国会議事堂前まで歩き、日本水準原点を調査、さらにはここまできたら皇居を素通りするわけにはいかず、桜田門をくぐって二重橋前まで。

最後に市ヶ谷で開催された「地籍シンポジウム in Tokyo」：連合会による、今後の地籍に関する研究会設立に向けたプロローグとして開催されたシンポジウムです。そうそうたる顔ぶれは必見です。

これらの3カ所をメインに現地調査？してまいりましたが、限られた紙面なので残念ながら一部しか掲載できません。その他事項および夜の調査報告書は各委員からの伝達講習にてよろしく申し上げます。

ここが地理院だ！

会報編集室長 西田 稔洋

- 今回初めて『地図と測量の科学館』に足を運ぶこととなり、国土地理院ということでお堅いイメージを思い浮かべ電車とタクシーを乗り継ぎようやく目的地に到着した。到着してみると想像とはうらはらにとってもおしゃれな外観でまず驚いた。

- ワクワクしながら中に入ってみると、大変広く、とても清潔感があり、さらに進んで行くと、受付の女性が笑顔で迎えてくれ、案内図もいただき見学をスタート！



※案内図に従ってレポートをまとめてみました。



③地図と測定の科学館

- 1) 1Fラウンジには床一面に日本地図が横たわっており、3Dメガネをかけると地図が立体的に見え、改めて日本には山が多いのと、富士山の美しさと大きさには感動した。
- 2) 一番印象的だったのは、明治初期に作成された『東京図』である。絵具で彩色された建物が1つ1つ描かれておりとても美しい地図だった。あとで調べてみて分かったことだが、これは江戸幕府が採用していたフランス陸軍方式を引き継ぎ作成されたものであった。



<明治10年代の東京図>



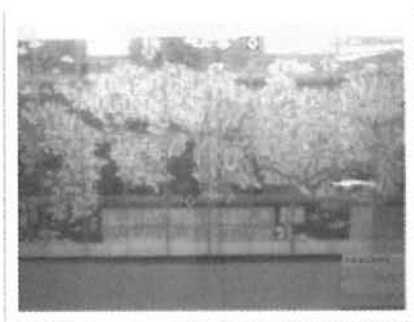
<平成10年代の東京図>

同じように「迅速測図」と呼ばれるものもフランス式である。

一昨年、工作中に石川県土木事務所で偶然手に入れた図面が「迅速測図」であったことを思い出した。調査業務を行ううえで、地図の歴史を分かっていたらいろいろな地図の発見にもつながるように思う。

- 3) 2Fにある地図ギャラリーでは、約30mの回廊で、国土地理院が設備提供している地図がたくさん展示されていた。

- 測量と地図の歴史の年表とさまざまな展示物があり、楽しむことができた。測量技術の発達に伴い地図の変化を知ることができ、日常の業務を行ううえでも日々進歩していかなくてはと気持ちを新たにした。



石川県の古図→

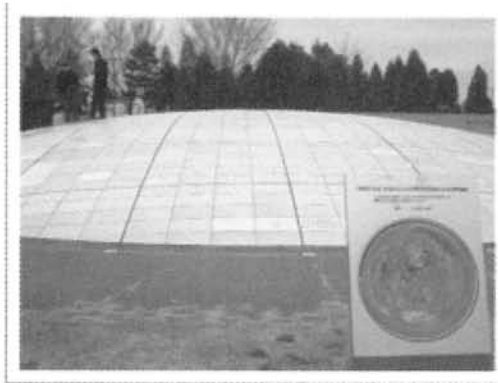


現存する最古の地球儀
(マルチン・ベハイムの地球儀)



④日本列島球体模型

- ここでは直径22mの球体模型の上に立つと地球の丸さが実感できます！



<高度300kmの宇宙から眺めた日本列島>



- この球体模型はかなりリアルな作りで驚き、いつも測量している場所がとても小さく感じられた。しかしこの大きな地図のほんの一部でも土地家屋調査士として測量できることに大変ありがたく思えた。

日本列島地図の上で
ガリバー気分!!を満喫

⑤測量用航空機「くにかぜ」



石川県には何回
きたのかなあ？



- かつて、1960年から1983年まで大空を飛び回り、日本列島の航空写真を撮っていた。その間の飛行距離は223,000km（地球5周半）にもなるそうです。

⑥電子基準点



- この施設は、GPSによって24時間連続観測が行われている。
電子基準点で受信したデータは国土地理院へ送られ、土地の測量や地図作成の基準点として利用される。
- 電子基準点は、全国約1,200カ所に設置されている。
外観は高さ5mのステンレス製ピラーで、上部にGPS衛星からの電波を受信するアンテナ、内部には受信機と通信用機器等が格納されている。

⑦測地観測塔



<全体図>



←各階には温度計が設置されている。

←下から上をみた写真

すごいなあ〜(=.=)

近くからみた写真→



金属標には【筑波基準点・建設省国土地理院】と刻印されている。

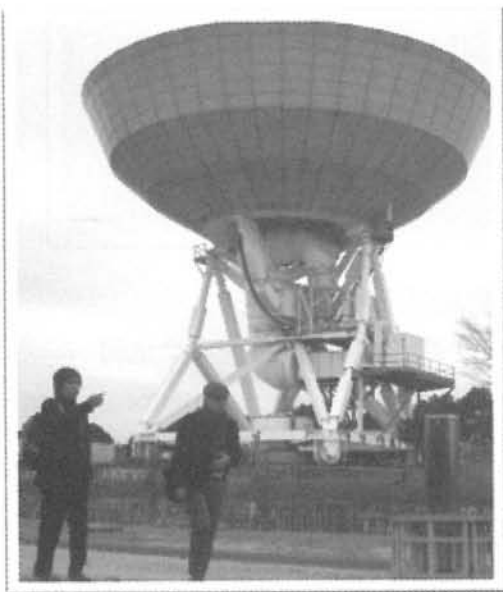
- この塔は高さ45mあります。

真下の地表面に設置されている永久標識（金属標）を筑波基準点とよびます。

この点の位置及び原方位（筑波一等三角点と真北の間の角）は、天文測量。人口衛星観測等により厳密に決定されており、実質的には日本の測量の原点の役目をしています。

塔の最上階には観測台があり、精密経緯儀や電磁波測距儀を用いて周辺の三角点間の観測を行っています。

⑨VLBIアンテナ



つくばVLBI観測局

VLBI (Very Long Baseline Interferometry: 超長基線電波干渉計) は、宇宙のかなたにある電波星 (準星) から放射される電波を地表の2地点のアンテナで同時に受信し、その到達時間の差から受信アンテナ間の相対位置関係を高精度に決定する装置です。アンテナ間の距離が数千キロメートル離れていても、わずか数ミリメートルの正確さで位置を決定することができます。

建設省国土地理院

- VLBI (超長基線電波干渉法) とは、はるか数十億光年の彼方にある電波星 (準星) から放射される電波を複数のアンテナで同時に受信し、その到達時刻の差を精密に計測する技術です。
近くには砺波移動観測局 (富山県砺波市上和田地内) にありますので、実物を見られたらと思う。
- かなり精度の高い測量であり、測量技術の発展は日々進歩し素晴らしいものであると感じた。

最後に、全体を見学して感じた事は、日本の過去から現代までの地図や測量の歴史を感じられ自分の土地家屋調査士としての知識が一段と上がったように思え、有意義な一日を送ることができ大変楽しかったです。感謝の気持ちでいっぱいです。

地図と測量の科学館

〒305-0811

茨城県つくば市北郷1

<http://www.gsi.go.jp/MUSEUM/>

この会報をご覧の皆様もぜひ一度見学に行ったら素晴らしい休日となることでしょう。このレポートでは紹介できなかったお子様でも楽しめる箇所もたくさんありましたので、各支部の旅行等で行かれることをお勧めいたします。

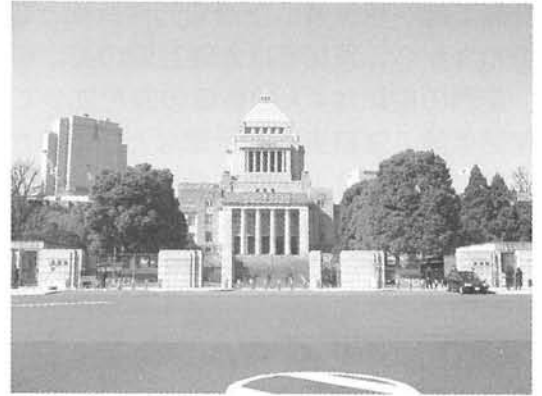


ここが赤れんがだ!!

会報編集委員 小橋 健史

取材2日目、宿泊していた日比谷のホテルにて朝食。窓の外には通勤途中のサラリーマンが足早に通り過ぎて行き、都会の慌しさを感じながらゆっくりと紅茶を飲む。

今日の目的地は、高低測量の基準となる日本水準原点と、我々土地家屋調査士の監督官庁でもある法務省です。法務省のある霞ヶ関までは徒歩10分ぐらい。日比谷公園の脇を抜けると、右手に水と緑に囲まれた広大な敷地、皇居が見えてきた。公園等も含んだ皇居一体の総敷地面積は約142万㎡あるそうで、高層ビルが建ち並ぶ東京のど真ん中でできた緑のオアシスのようである。桜田門を過ぎ、日本水準原点のある国会前庭に向かう。



<国会議事堂>



<日本水準原点標庫>

国会までの道のりには警視庁等もあるためか、2~300mおきに警察官が立っていて、なんとなくピクピクしながら前を通り、国会議事堂を眺めながら日本水準原点に到着。日本水準原点は、明治24年に行われた潮位観測により、建物内部の水晶板のゼロ目盛りの高さを、東京湾平均海面上24.500mと決定したが、大正12年の関東大震災での地殻変動により24.4140mと改定され現在に至る。また、この場所は古くからの山の手の台地で、地盤沈下の影響を受けることは無いとされており、さらに標庫の基礎は地下10m余の安定地層から築いてあるので、原点の高さに狂いが生じる心配は無いそうである。また、この標庫は石造による小規模な建築物であるが、ローマ風神殿の形式を持つ明治期の数少ない近代洋風建築として建築史上貴重なもので東京都指定有形文化財（建造物）に指定されている。



<霞ヶ関周辺図>

皇居のお濠に沿って次の目的地法務省に向かう。平日の朝だというのにたくさんのランナーが皇居の周りを気持ち良さそうに走っている。少し歩くとおなじみの法務省赤れんが棟が見えてきた。赤れんが棟は、明治28年に旧司法省庁舎として竣工されたものであり、明治期の霞が関官庁集中計画で唯一生き残った歴史的建造物として貴重なものである。戦災による焼失等にも耐え、修復を重ねながら、現在では創建当時の姿に復元され、外観は国の重要文化財に指定されている

正門の前には4人の警備の方が立っていて入館の案内を受ける。建物内部は法務総合研究所、法務図書館、法務史料展示室などがあるが、今回見学できるのは法務史料展示室のみである。展示室以外の場所は今も公務に使われているので、写真撮影等もNGである。警備の方にがっちりガードされながら建物内部へ。中はさすがに重厚な造りで、歴史を感じながら展示室へ。展示室には、我が国が明治の初めから近代国家への脱皮を急務とする中で、最も急がれた司法の組織に関する立法や刑事法等明治前期の基本法典の編さん事業における司法省の活動と、いわゆるお雇い外国人の貢献に関する史料が紹介され、併せて、明治の著名な事件史料、法務省の沿革資料、法務行政の歴史資料などが展示されている。ここでは司法の歴史の重みを感じ、我々土地家屋調査士も隣接法律専門職として日々研鑽を積まなければならないと思いました。



<法務省赤れんが棟>

法務史料展示室・メッセージギャラリー

〒100-8977

千代田区霞が関1-1-1

<http://www.moj.go.jp/SHIRYO/index.html>

最後は地籍シンポだ!!!

広報部長 石野 芳治

基調講演「不動産物権変動と地籍」鎌田 薫（早稲田大学大学院法務研究科教授）

報告「地籍調査の課題と今後の展開の方向」安本典夫（立命館大学法科大学院教授）

パネルディスカッション「日本の地籍制度の現状と課題～地籍に関する研究会の設立に向けて～」

コーディネーター 鎌田 薫

パネリスト

小宮山秀史（法務省民事局民事第二課地図企画官）

安藤 暁史（国土交通省土地・水資源局国土調査課課長補佐）

村田 博史（京都産業大学大学院法務研究科教授）

阪本 一郎（明海大学不動産学部教授）

和氣 猛仁（社団法人神奈川県宅地建物取引業協会会長）

磯崎 泰博（日本司法書士会連合会理事）

下川 健策（日本土地家屋調査士会連合会副会長）

まずは基調講演として、

早稲田大学の鎌田教授の講演です。

1. 不動産物件変動論の課題は取引の安全を守ること
2. 地図・表示登記に期待されている役割
3. 地籍をめぐる状況の大きな変化
4. 地籍・表示登記の整備が開く新たな展望

続いて立命館大学の安本教授による報告です。

「地籍調査の現在における課題および今後の展望に関して」

1. はじめに
2. 筆界確定の仕組み
3. 地籍調査
4. 地籍整備の促進

最後にパネルディスカッションです。

ディスカッションの前に「不動産登記法改正と登記所備付地図作成作業について」（小宮山）、「地籍調査事業の現状について」（安藤）、「地籍の研究課題ほか」（村田）、「地籍に関する教育の実態ほか」（阪本）、「権利の登記の現場から見た地籍表題登記」（磯崎）、「都市部の地図整備について等」（和氣）とそれぞれの方にご講演いただき、そのあとディスカッションに入っていました。

今回は、「地籍についての学術的・学際的研究のための組織作りの必要性和、地籍に携わる者の教育システムについて、その課題を探るため」ということであり、全体的に、「地籍」に関する研究会・勉強会をこれから立ち上げようという意識の中でのシンポジウムでありました。

登場いただいた方々はそうそうたるメンバーで、連合会の決意も感じ取れます。しかしながら会場がちょっと小さく感じました（これは参加者が予想以上にこられたのかもしれませんが……）。さらには限られた時間であったため、総論・各論を一気に駆け抜けていってしまい、全体的に非常にもったいないように感じました。今回のシンポジウムは、これからはじまる大きな流れのきっかけに過ぎず、今後はますますこのようなシンポジウムが全国各地で開催されると予想されるので、次に期待したいと思います。

国民がより安心して生活していく為に、「権利の明確化に寄与する」ことが私たちの使命ですが、「地籍」をもっともっと研究、発展、活用させること」もまた我々土地家屋調査士の使命である。また我々以外に出来るものもない、と強く感じました。



石川会の年男



今年は丑年です。多くの人が集まれば12分の1は年男がいるはずですが、

ちなみに当会には会員総数182名中18名と約1割いらっしゃいます。第1次・第2次ベビーブームも重なってなのか、12分の1を大きく上回っています。

そこで丑年の年男の方々何人かにご協力いただき、アメリカ・オバマ大統領の「CHANGE」のキーワードを引っ掛け、

- ① 「この12年間で変化（チェンジ）したこと」
（十数年前の日々の様子でも可）
- ② 「これからの12年間で変化（チェンジ）したいこと」
（こんなことをしたい・こんな風でありたい等でも可）

を聞いてみました。ということで紹介させていただきます。

ちなみに、私も丑年です。

広報部長 石野 芳治

加恵田 慈郎（会員番号 463 号）



この業界で32年経ちました。私は今話題の2世士業人となります。

この業界では特別珍しいわけではありませんが、私としては、先代の地盤（能登）を継いだわけでもなく意識としては初代だと思っています。どちらかといえば脱サラ組（これもこの業界では珍しいわけでもないが……）という意識です。

某会社（今では大手）の不動産開発関係部署に勤務後、取引先の司法書士におだてられたのと、少額資本で独立でき、“センセイ”とよばれる心地よさに惹かれてこの道を選択。不純な動機？で始まった選択も年月とともに洗い落とされ今は世のため人の為、役に立とうと思うが、如何せん今年還暦を迎える年となって、現場に出るのも、人と人との間を取り持つことも、とみに面倒くさくなり、写真で見る自分の顔が爺くさく、何かとため息のつきない今日この頃です。人生設計に於いては55才で現務終了残りは〇〇〇の仕事をしたかったのですが、それも夢のまた夢となり、12年後の己をみつめ直す機会もないままに終える事にもなりそうです。が、その前に今年、会務の仕事が回って来ました。最初で最後のご奉公として、似合わないかもと思ひながら素直な気持ちで無事終えたいと思いますので皆様何卒宜しくお願い致します。



大岡 不似夫 (会員番号 479 号)

- ① 開業約20年の頃、私は補助者経験を積んでの独立ではなかったため、仕事の運びもよくわからないままに悪戦苦闘の末、調査士の形を整えてきました。思い出はすべて美しいと、ひとくくりには出来ないものがあります。

趣味は、釣り、山菜、読書等々、思うがままに取り組んできました。海そして山、そんな中で、時として、何やらいいようもない感謝の念がこみ上げてきたのが記憶に残っています。

- ② 12年後に向けて、仕事に関しては知識・知恵を少しずつであっても向上・進化させていけたらと念じつつ、趣味にあっては、海、山そして読書を楽しむも、時に至っては、未来より過去に思いを巡らす時間が多くなっているとも思われます。

しかし、今としては、そんな時の流れの中にあっただとしても、やはり明日に思いをはせる心は失いたくはありません。

願わくば、少年の日々、その心を持ち続けていけたらと思っています。

森下 務 (会員番号 508 号)

- ① 独立後、右往左往の日々の末、仕事の方も一応軌道に乗った頃でした。趣味の囲碁の方では、ちょうど油が乗ってきた状態とでも言いましょうか、対局においても割りと納得の行く場面も多かったように記憶しています。頭の中で白と黒の碁石が格闘しているような心持ち、時代とでも言いましょうか……。

- ② 昨年は、息子の康平も調査士試験に合格させていただき、親子共に一息つくと同時に、合格の喜びをかみしめています。今後は、それぞれの個性・特徴を発揮しつつも、徐々に主力を息子の方に移して行けたらと思っています。

囲碁においては、12年後と、はっきりした期限は切れませんが、これまでの積み上げの向こうに、枯れたそして深みのある対局ができるように研鑽を積んでいくつもりです。

親子共々、温かく見守っていただけたら幸いです。



清水 順 (会員番号 523 号)

- ① この約12年は、仕事面においては業務領域の拡大、関連法規の拡充等々、その対応に追われ、ある意味、大いに有意義な、言葉を返せば、厄介ごとが多い日々でした。一方、趣味の登山においては、ハードクライマーよろしく、北アルプスを活動の場として様々な山に挑戦してきました。……朝日に照らし出された岩峰群は、あまりに神々しく言葉を失います。
- ② これから12年は、仕事面における各種の対応は今まで以上に厳しさを増すことは想像に難くはありません。よって、努力あるのみです。趣味の「山、スキー、釣り、読書等」は体力の衰えと相談しつつも、それなりに楽しんでいけたらと思っています。70数歳の視点、そして感慨は、同じ山を相手にしたとしても、きっと今とは異なったものでしょう。そんな時、そんな時代を“私流”に味わっていくつもりです。

大岡 外美夫 (会員番号 529 号)

- ① 土地家屋調査士の仕事に縁の無かった長女が平成13年頃から事務所を手伝うようになり、当初は調査士の仕事は男社会で少し難しいと思っていましたが、それでも、調査士の試験に向けて勉強を始めたときは嬉しかったことを覚えています。そして、一昨年の調査士試験に合格し、一緒に事務所で仕事ができるようになったこと。
- ② 私は団塊世代ですので、これからは好きなスポーツをライフワークにしたいと思っていますが、それ以上に長女が一人前の土地家屋調査士になれるよう、見守りながら私自身も課題を見つけて向上心を持ち続けたいと思っています。



橋爪 哲史 (会員番号 599 号)

- ① 十数年前は将来調査士になるという夢をもって調査士事務所の補助者として働きはじめた頃でした。当初、右も左も解らない事だらけでしたが幸いにも事務所の従業員の歳がみんな近かったこともあり仕事プライベートともに楽しかった思い出があります。
- ② これからの12年間は、調査士にとって非常に厳しい時期になるかと思われませんが、仕事に関しては妥協を許さず地道にやっっていこうと思っております。またプライベートについては今現在これといった趣味がないので一生携わることのできる趣味を見つけられればなあ……と思っております。

南 知伸 (会員番号 602 号)

- ① ・ちょうど12年前にこの業界に入りました。
補助者として勤め出しましたが、失敗ばかりで常にお叱りを受けていました。
現在も失敗ばかりで、大きな変化は感じられませんが……。
・6年前に調査士登録しました。
調査士として初めての現地立会いは、大変緊張しました。
緊張しすぎて、上手く説明できませんでした。
現在も上手く説明できず、立会い現場がしらけてしまうことがありますね……。
・子供が産まれました。
現在2歳です。
訳解らんことを喋りまくるカワイイ奴です。
小憎らしいところもありますが……。
- ② 大きな変化を望まず、家族が健康で平穏な日々を送っていただけたいと思います。
私自身、幸にも大きな病気に罹ったことはありません。
ただし、成人病体型ですので……、少しは体型が変化すればと思います。

市村 孝一 (会員番号 607 号)

- ① 12年前は県内のコンピュータ会社に勤めており、典型的な会社人間として近所付き合いなぞ無縁の生活をしておりました。会社の仕事はとてもやりがいのあるものでしたが、何か一生続けられる仕事はないだろうか悩んだ末、53歳で土地家屋調査士試験に合格したのを機に、この世界に身をおいて約6年間は過ぎました。いまでは、近所の方々からも仕事をさせてもらえるようになり、自分なりに充実した生活ができるようになりました。
- ② 土地家屋調査士はとてもやりがいのある仕事だと思う反面、自ら顧客ニーズを開拓することはなかなか難しい仕事であると感じています。これからの12年間は、顧客が土地や建物を求める際に、まず「土地家屋調査士に相談するのが最良の選択」というようなビジネスモデルを開拓し、ひいては土地家屋調査士の認知度をあげていくような取り組みをやっていきたいと願っております。

古平 真一 (会員番号 614 号)

- ① 12年前といえば娘が生まれた年でした。早いもので今年の春で中学一年生になります。その当時はサラリーマンであり、娘の誕生を期に調査士の資格取得のため勉強をスタートした年であります。4年前に独立し日々前進しております。
- ② 12年後は、息子が25才、娘が24才です。もしかしたら孫が生まれているかも……。これからの12年はまだまだいろんなことに挑戦していきたいと思っています。

益村 史朗 (会員番号 638 号)

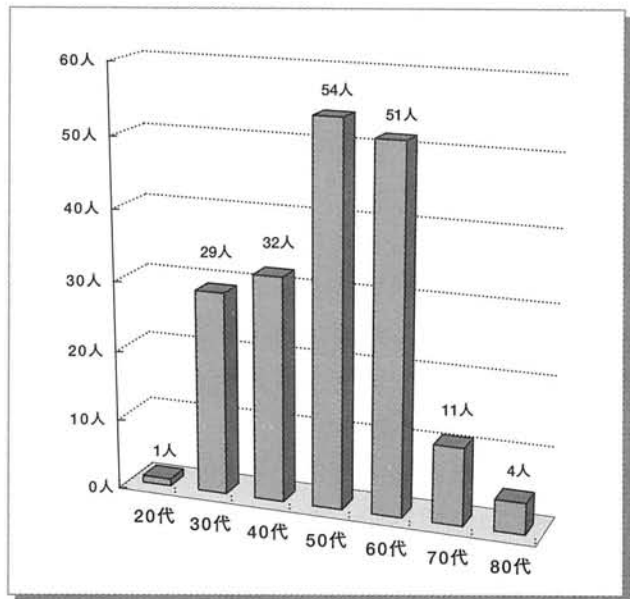
- ① 以前は広告関係の仕事をしておりました。
所謂“業界人”という人種に属し“接待”の名目で毎夜六本木あたりを飲み歩いておりました。と、言うとは軟弱にクライアントのご機嫌を伺って“ヘラヘラ”やっただけ!?と、想像されるかも知れませんが、現実にはライバル会社の提案する“情報”や“企画”以上のモノ(サービス)を常に提供していかねばならない“非情”な日常を送っておりました。(本当!?)『健全な生活を送りたい』⇒『資格者の仕事!?!』との安易!?!な理由で一種真逆である“調査士”資格の取得を目指し、何かのご縁で今日この場に登場しました。
- ② 遠回りでしたが調査士としてスタートラインに立ったばかりですので、今はひたすら“調査士”の仕事に身をつける事!
同じ資格名を名乗る者として先輩方にご迷惑の掛からないようにひたすら“勉強”する事が全てです。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

石川会の「あべ・れいじ君 2009」

年齢編

年齢	人数
20代	1人
30代	29人
40代	32人
50代	54人
60代	51人
70代	11人
80代	4人

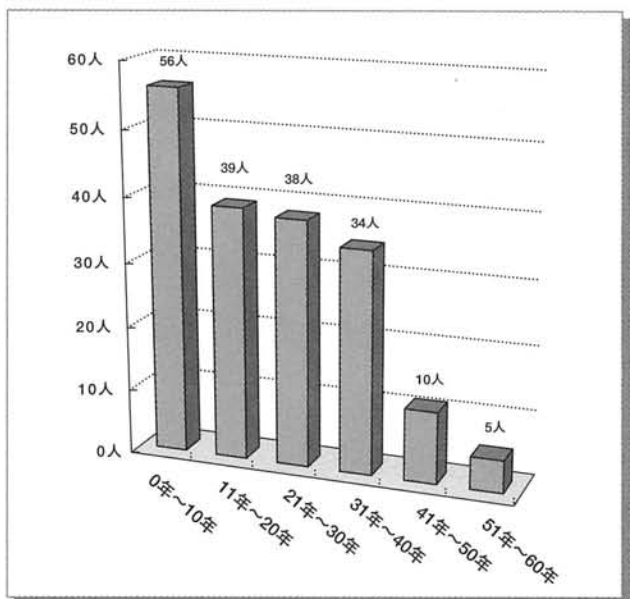
平均年齢 54.35歳



登録年数編

開業年数	人数
0年～10年	56人
11年～20年	39人
21年～30年	38人
31年～40年	34人
41年～50年	10人
51年～60年	5人

平均年数 20.41年





《七尾支部》



支部長
高原 渡

七尾支部親睦旅行記

奥飛騨新穂高と上高地めぐり

(平成20年10月18日～10月19日)

2年に一度の支部旅行である今日は、まさしく絶好の行楽日和となった。雲一つない快晴で心なしか、皆の顔がほころんで見える。

最初の観光地である新穂高ロープウェイには、予定より早く到着。早めの昼食をとって、2階建てゴンドラで西穂高口にある展望台までゴー。途中、紅葉の見事さに心奪われていたら、いきなり雄大な北アルプスの山々。まさしく雲上の空中散歩。

西穂高口にある展望台は標高2,200m。風の冷たさがとても心地よい。澄み切った青空の向こうに、槍ヶ岳、奥穂高岳、西穂高、笠岳、焼岳遠くは、白山連峰まで見えるパノラマビューは絶景であった。

ところで、今回の旅行の添乗員は、山岳ガイドもつとめる登山家である。頼んで来てもらったかいがあり、山々の説明はお手の物である。それにしてもこの素晴らしい天候と、雄壮な山々を目の当たりにして、やたら気分が高揚してくる。

ある会員から、向かいの山に見える建物まで歩いてみないかという提案があり、4人の健脚が西穂山荘まで往復約3時間のトレッキング（簡単な登山）に挑戦。

山岳ガイドがいたからこそである。残りの会員は、無謀な挑戦を冷ややかな目で見ながら？途中のしらかば平で、のんびりと足湯につかりながら、待つこと約4時間。

無事、全員集合。

ようやく宿泊地である新平湯温泉の宿「奥飛騨薬師の湯 本陣」に到着。この宿泊場所は、友人、知人の口コミとインターネット、ガイドブックで調べたもので、歴史を感じさせる旅館正面の姿、いろいろ料理という料理内容にひかれて決めた宿である。

施設はやや古かったが、宴会はいろいろ料理を十分に堪能し、自称歌手の竜 鉄也の弟？が歌う奥飛騨慕情を聴き、3つの種類の違う温泉で満足の一晩であった。特に野趣豊かな岩風呂（露天風呂）は、おすすめである。乳白色の天然温泉につかり、満天の星空を見上げ、最高のひとときを過ごした。

2日目は、いよいよ上高地だ。10月というのに息が白い。気温-2℃当然といえば当然か。

まず、添乗員（山岳ガイド）に無理矢理？準備体操をさせられ（歩くのも準備体操は必要らしい）焼岳のかすかな噴煙を見ながら、大正池から出発し田代池を通り河童橋まであっという間に到着した。



《七尾支部》



この後、明神池まで行ったら約3時間の散策となると教えられたが、皆さん尻込みすることも無く、日頃の運動不足（現場仕事は別）も省みず、明神池、そして河童橋まで無事全員踏破となった。

唐松の黄金色もまぶしく、赤や黄色に色づく紅葉、普段はじゃまとしか感じない舞い散る落ち葉にも風情を感じながら？、あっという間（バテバテ）の3時間であった。

歩き疲れたところで五千尺ロッジでの昼食。冷たいビールでのどを潤し、ここで一息、とても満足であった。シーズンと言うことでもあり、混雑を避けるため早々と上高地を後にして帰途についた。

高山ラーメンの試食もそこそこに、帰りのバスの中では、ビンゴゲームで楽しみ、今回の観光地で買い集めた土産品を賞品に大いに盛り上がった。

今回の旅行は15名の参加で、天候にも恵まれ思い出に残る旅行になった。とにかく、無事に帰ってこれてヤレヤレである。

皆さんご苦労様でした。





《金沢支部》



支部長
村谷 正己

平成21年2月13日(金) ANAクラウンプラザホテル金沢にて金沢支部研修会を49名の会員にご参加頂き開催いたしました。今回は外部からの講師をお迎えしての研修会で、河原充弘氏による「建築基準法改正の動向」では、法改正の趣旨と実態的な動きについてのお話や、建築士が目指すワンストップサービスの概要についてご講義をいただきました。田中誠氏による「不動産投資入門」では、不動産投資の基礎知識と収益の仕組みや、投資分析および不動産の価値分析等についてご講義をいただきました。



研修会の後に開催された新年会では44名の方にご参加頂き、この不況を吹き飛ばすべく大いに盛り上がり、親睦を深められたのではないかと思います。



新入会員に聞く

8項目の質問

- ① なぜ土地家屋調査士になろうと思いましたか？
- ② 実際に業務をしてみて、自分の思いと違うところがありましたか？
- ③ 入会して土地家屋調査士に対するイメージは変わりましたか？
- ④ 前職は何ですか？
- ⑤ 自分がどのような性格だと思えますか？
- ⑥ 趣味はなんですか？休日はどのように過ごしますか？
- ⑦ あなたの健康法は何ですか？
- ⑧ 土地家屋調査士として今後の抱負は？



金沢支部 ふじしま 藤島 しんいちろう 信一郎

- ① 『あの人カッケー（格好良い）』と思った人が土地家屋調査士だったから。
自分で会社を経営している父親を尊敬していて、将来自分も親のように独立したいと考えていたから。
- ② 予想以上に奥が深い仕事だと思いました。
- ③ 変わりません。
- ④ 地質調査会社勤務
- ⑤ せっかち、落ち着きがない
- ⑥ 溪流釣、登山、スキー
- ⑦ ほぼ毎日仕事が終わってからプールへ行くこと。
- ⑧ 自信をもって『土地家屋調査士の藤島です！』と言えるように頑張ります。



金沢支部 やました 山下 しげる 茂

- ① 豊かな人生を送るため。
- ② 実際の業務をまだ行ってないので分からない。
- ③ 特に変わったことはない。
- ④ 物品販売
- ⑤ 誠実
- ⑥ 調査士業の勉強
- ⑦ 自宅でのストレッチ
- ⑧ 人に役立つ業務を行うこと。

新入会員に聞く



金沢支部 かみやま 上山 まさる 優

- ① 建設会社にて不動産の売買や住宅の設計及び営業の業務に長らく携わっていた為、ステップアップを図る目的で土地家屋調査士を志しました。
- ② 報酬自由化の影響が、思いの外大きいことに驚きました。
- ③ 社会的な認知度が低いことを実感しました。
- ④ 直前は北陸財務局の管財部にて非常勤で勤務していました。それ以前はいろいろと多いため、別の機会があればお話ししたいと思います。
- ⑤ 至って温厚で滅多に怒りません。名前が示すとおり優しい性格だと思っています。
- ⑥ 趣味は「中国歴史ドラマ鑑賞」と「オペラ出演」です。今年の7月には両者を兼ねた、プッチーニの「トゥーランドット」に出演します。ご来場頂ければ幸いです。
- ⑦ ゴルフの打ちっぱなしです。コースに出ることは精神的健康状態が保てないので、健康法にはなりません。
- ⑧ 住宅の建築に携わってきた経歴が長いので、土地家屋調査士として中立公平な立場から「住宅建築アドバイザー」的な業務ができればよいと考えています。



金沢支部 かわい 川合 よしひと 嘉人

- ① 補助者として経験してきた中で、調査士の仕事は自分に合っていると感じたからです。
- ② ありません。
- ③ 変わりません。
- ④ 測量設計会社勤務
- ⑤ 素直、温厚
- ⑥ 旅行、スポーツ観戦。休日は主にフィットネスクラブで運動をしています。
- ⑦ 適度な運動を継続して行うこと。
- ⑧ 「正確・迅速」を常に心がけて、業務を遂行していきたいと思っています。

新入会員に聞く



小松支部 ^{ますむら} 益村 ^{しろう} 史朗

- ① 老後もできる仕事かな？と……勝手に想像。
- ② まだ研修段階です。想像以上に社会的な存在意義の高い職業であると感じています。
- ③ 傍から見る以上に先輩方の職業意識が高く、生半可な気持ちで従事出来ない厳しい仕事であると実感しています。
- ④ 広告代理店勤務⇒不動産仲介業（時々建設請負・リフォーム請負）
- ⑤ 暗い
- ⑥ テレビ観賞（特命係長 只野仁!!）
- ⑦ 毎日欠かさず酒を飲むこと。
- ⑧ 明日はどうなることやら……????



金沢支部 ^{もりした} 森下 ^{こうへい} 康平

- ① 父親が土地家屋調査士で、補助者として、業務を補助をされていて自分でも土地家屋調査士を目指してみようと思いました。
- ② 補助者の時と違って、自分の責任において申請を行うことに強い責任感を感じています。
- ③ 補助者をしていた時からイメージは変わっていない。
- ④ 調査士補助者
- ⑤ おおらか
- ⑥ 魚釣り、読書、休日は魚釣りばかりしています。
- ⑦ 特に健康法はありません。
- ⑧ 補助者の経験はありますが、まだまだ半人前ですので、早く一人前の土地家屋調査士になれるようがんばります。



七尾支部 ^{のだ} 野田 ^{きよみ} 清美

- ① 屋外での仕事・技術のある仕事がしたいと考えていたところ、土地家屋調査士という仕事を知り、目指しました。
- ② 概ね思っていたとおりです。
- ③ 土地家屋調査士業務を行うには、幅広い知識や経験が必要だということが新人研修を通してとてもよくわかり、土地家屋調査士という仕事の重要さを感じるようになりました。
- ④ 土地家屋調査士補助者です。
- ⑤ 小さい頃から「おとなしい」と言われ続けています。
- ⑥ 子供と遊ぶこと。お天気が良ければ、子供と公園で遊んでいます。
- ⑦ 子供と一緒に、午後9時には就寝することです。
- ⑧ オンライン申請等新しいことを取り入れ、測量の技術を高め、得意分野を持った、お客様から必要とされる土地家屋調査士を目指したいです。

Information・事務局

新人会員



氏名 ふじしま しんいちろう 藤島 信一郎
 登録番号 第634号
 事務所 〒920-2165
 白山市富光寺町263番地
 (事)TEL 076-273-2144
 (事)FAX 076-273-1208
 登録年月日 平成20年12月1日



氏名 やました しげる 山下 茂
 登録番号 第635号
 事務所 〒920-0267
 河北郡内灘町大清台335番地 第2コーポ大清204
 (事)TEL 076-286-8227
 (事)FAX 076-286-4279
 登録年月日 平成21年1月13日



氏名 かみやま まさる 上山 優
 登録番号 第636号
 事務所 〒920-0965
 金沢市笠舞3丁目16番17号
 (事)TEL 076-265-5519
 (事)FAX 076-265-5571
 登録年月日 平成21年1月13日



氏名 かわい よしひと 川合 嘉人
 登録番号 第637号
 事務所 〒921-8002
 金沢市玉鉾2丁目389番地2
 (事)TEL 076-291-6934
 (事)FAX 076-291-6580
 登録年月日 平成21年1月13日



氏名 ますむら しろう 益村 史朗
 登録番号 第638号
 事務所 〒929-0113
 能美市大成町ソ179番地1
 (事)TEL 0761-55-1054
 (事)FAX 0761-55-1054
 登録年月日 平成21年1月13日



氏名 もりした こうへい 森下 康平
 登録番号 第639号
 事務所 〒921-8011
 金沢市入江1丁目593番地
 (事)TEL 076-291-7877
 (事)FAX 076-291-7865
 登録年月日 平成21年1月13日



氏名 のだ きよみ 野田 清美
 登録番号 第640号
 事務所 〒926-0024
 七尾市古屋敷町ル部17番地3
 (事)TEL 0767-58-3105
 (事)FAX 0767-58-3106
 登録年月日 平成21年2月20日

登録事項変更

氏名 橋爪 哲史
 登録番号 第599号
 事務所 〒920-0338
 金沢市金石北1丁目7番3号
 (事)TEL 076-267-7101
 (事)FAX 076-267-7102
 変更年月日 平成21年1月5日

登録事項変更(土地区画整理事業に伴う変更)

氏名 古平 真一
 登録番号 第614号
 事務所 〒920-0269
 河北郡内灘町白帆台1丁目324番地
 (事) TEL 076-286-8001
 (事) FAX 076-286-0988
 変更年月日 平成20年11月29日

登録抹消(退会)

氏名 宮尾 光夫
 登録番号 第69号
 届出年月日 平成21年3月31日

氏名 西浦 功
 登録番号 第387号
 届出年月日 平成21年3月31日

— 訃 報 —



輪島支部

谷内 清 会員 (89歳)

平成21年2月4日ご逝去されました。ここに、謹んでご冥福をお祈りいたします。

● 図書蔵書一覧表 ●

石川県土地家屋調査士会

	図 書 名	著 者・発 行
457	土地家屋調査士法関係法令集(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律対応版)	日本土地家屋調査士会連合会
458	地籍シンポジウムin滋賀2009 【地籍イノベーション】 Cadastre~高度地籍情報がもたらす新たな社会価値の創造~【論文集】	滋賀県土地家屋調査士会
	民事月報 ~2009年3月	
	月刊 登記情報 ~2009年4月	財団法人 金融財政事情研究会

編集後記

100年に一度の大不況と言われる中、久しぶりの明るい話題が、WBCでの日本代表チームの優勝だったのではないのでしょうか。キューバやアメリカなどの野球大国を相手に怯むことなく戦い、勝利していく姿は正に侍。韓国との死闘の末優勝し、日本中に感動を与えた侍JAPANは深い「絆」で結ばれているようでした。

会報いしかわは「人」「家族」「絆」をテーマに作成しております。この会報を会員相互の交流、親睦のためのツールの一つとして使って頂けると幸いです。

より良い会報にしていくために、今後とも皆様方のご支援、ご協力を宜しくお願いいたします。

会報編集委員 小橋 健史

- オンライン申請を徹底支援 -

ウイングネオ シックス
WingNeo.6
Network Land Surveyors' System

オンライン特例方式 WingNeo.6

- 乙号申請支援
- 添付情報特例方式支援
(申請書のみ電子署名、添付情報は別送方式)
- 添付情報電子ファイル化方式支援
(添付情報までPDF等+電子署名して先行送信)
- WingNeoデータ連動
(CAD図面、XML図面、現場情報等)
- バインダ形式ファイリング機能
- XML署名、TIFF署名、PDF署名
- ライブアップデート(保守加入必須)

完全オンラインプラス WingNeo.6

- オンライン特例方式の全機能
- 完全オンライン方式での申請
(公的個人認証カードによる電子署名機能追加)



登記書類作成支援/調査報告書作成支援

- ① 登記申請書+添付書類各種
- ② 帳票タイプを400以上搭載
- ③ 点情報管理機能
- ④ 筆界特定申請支援機能
- ⑤ 画像編集機能
- ⑥ WingNeoデータ連動
- ⑦ ライブアップデート(保守必須)

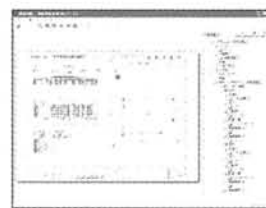
※ 調査報告書作成支援オプションは調査報告書のみ作成が行えます。

登記書類作成支援オプションの搭載帳票の種類(一部)

- | | | | |
|---------------|---------------|-------------|------------|
| ・登記申請書(土地・建物) | ・抵当権減失承諾書 | ・筆界特定申請書 | ・土地合筆登記申請書 |
| ・委任状(土地・建物) | ・所有者更正承諾書 | ・筆界特定申請意見書 | ・建物減失証明書 |
| ・地図訂正申請書 | ・筆界確認書 | ・筆界特定手数料計算書 | ・不動産売買の委任状 |
| ・共同担保目録 | ・立会証明書 | ・筆界特定委任状 | ・不動産贈与の委任状 |
| ・合併地役権証明書 | ・立会のお願ひ | ・筆界特定承継申出書 | ・建物表題付属申請書 |
| ・工事完了引渡証明書 | ・分割地役権証明書 | ・筆界特定調査票 | ・建物取り壊し申請書 |
| ・登記済証 | ・登記嘱託書(土地・建物) | ・筆界特定立会通知書 | ・受領書 |

地積測量情報XML

- 地積測量図XML
- XML署名
- 土地所在図XML
- TIFF署名
- 地役権図面XML
- XMLチェッカー
- 建物図面XML



乙号申請
と
半ライン
完全オンラインまで!

WingNeo
1台で完結、
誰でも出来る
簡単オンライン

手数料も
ガソリン代も、
オンラインで経費節減!

WING over the World
ASANT TECHNOLOGY

アイサントクノロジー株式会社
<http://www.aisantec.com/>

〒460-0003
名古屋市中区錦三丁目7番14号 ATビル
TEL (052)950-7500 FAX (052)950-7507

SOKKIA

手軽で安価な1周波GNSS受信機はいかがですか？

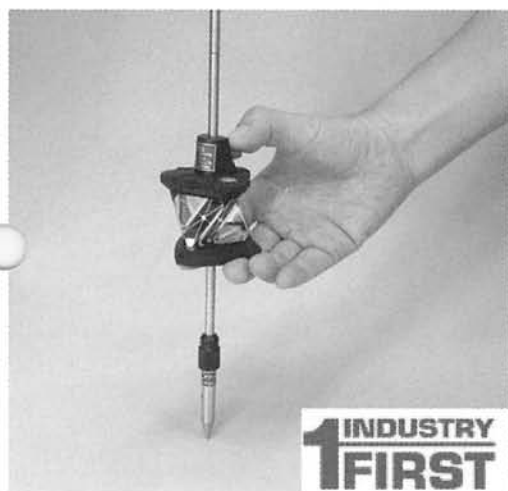


GSR1700 CSX



New!! 360° スライドプリズム & 小型・軽量リモートキャッチャー登場

ATP1S



INDUSTRY
FIRST

RC-PR4



※左はRC-PR3(好評販売中)



測量機・試験器・気象器械・複写機・OA機器

K 株式会社 **金沢測機**

〒920-0058 金沢市示野中町1-29
TEL 076-222-8787 FAX 076-221-3773



ソキア販売 北陸地区パートナー店

株式会社 **シーティーエス**

北陸支店 〒839-8046 富山県富山市本郷新7-1
TEL 076-494-1300 FAX 076-494-1301

本 社 〒386-0005 長野県上田市古里92-5
TEL 0268-26-0822 FAX 0268-26-0892

ISO9001認証取得 <http://www.cts-h.co.jp>

株式会社 **ソキア・トフコン**

株式会社 **ソキア販売** 東京都世田谷区用賀2-31-7 〒158-0097
TEL.03-6684-0846 FAX.03-6684-0941

□北海道・・・011-611-3441 □東北・・・022-257-3466 □東京・・・03-3708-4911
□名古屋・・・052-777-8877 □大阪・・・06-6302-3931 □九州・・・092-472-3559

核となるTPSが進化し スマートステーションはさらなる領域へ

もしもあなたが、世界測地系の正確な座標をcm単位で必要とするなら、それにはGPSが必要です。さらに土地の座標をmm単位で必要とするなら、TPSが必要です。

スマートステーションはGPS/TPS2台分の機能を1台で可能にしました。しかも価格は1.5台分です。

作業時間の大幅な短縮と大幅なコストの削減を可能にしたうえ、GPS/TPS2つの測量で同一の座標系を使用するため、基準点の精度や整合性の確認を現地で簡単にチェックできるなど、測量の精度を最高レベルで確保しつつ生産性を向上させます。

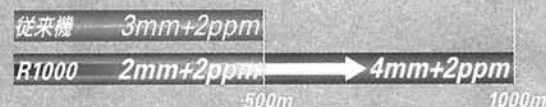
TPS機能はさらにプラス

スマートステーションの核となるTPSは基本性能をTPS1200+(プラス)としてさらにアップしました。TPS1200+はスマートステーションやスマートボールへトランスフォーム(変身)できます。

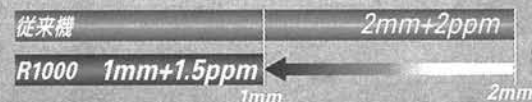
ノンプリズム機能のロングレンジ化



ノンプリズム機能の測距精度の向上



プリズム測距の精度の向上



自動視準機能の位置精度の向上



見やすいカラーディスプレイ



⑧スマートステーションはライカジオシステムズの登録商標です。



New SmartStation

TPS1200+

株式会社 測機サービス

〒920-0947 石川県金沢市笠舞本町2-3-3 TEL.076-222-7044 FAX.076-222-4788
E-mail: YHY00562@nifty.ne.jp

ライカ ジオシステムズ株式会社

大阪支店 〒540-6131 大阪市中央区城見2-1-61 Twin21 MIDタワー31F TEL.06-6910-3871
http://www.leica-geosystems.co.jp

- when it has to be right

Leica
Geosystems



自動追尾・自動視準・自動対回・長距離ノンプリ搭載。
全てを兼ね備えたハイエンドモデル新登場！！

ノンプリ測距 2000m

自動視準機能

自動対回機能

All-round

高速自動追尾

- 高速自動追尾機能を利用し、効率的なワンマン観測が可能
- 自動視準機能を利用し、快適な観測を実現
- 自動視準モードにより、スピーディな対回観測を実現
- 超ロングレンジノンプリズム測距2,000m

自動追尾バルスータルステーション

GPT-9000A シリーズ

全ての衛星測位システムの信号をキャッチ！
G3全ての信号に対応した次世代GNSS受信機登場。

G3 TECHNOLOGY

- G3 Tracking Technology
GPS+GLONASS+GALILEOの全ての衛星、全ての信号の受信に対応。
- アンテナ・受信機一体型最新設計
- 通信モジュール&Bluetooth™内蔵
- 低コストで安定した高速通信

G3搭載-GNSS受信機

GR-3 NEW

トプコン測量機器 情報提供サイト <http://www.guppy-net.com>

株式会社 **トプコン販売**

〒174-8580 東京都板橋区蓮沼町75-1
本社・東京営業所 TEL (03)5994-0671 FAX (03)5994-0672

株式会社 **丸菱**

本社 〒920-8545 金沢市問屋町2-20 TEL (076)237-8811 FAX (076)237-8810
小松営業所 〒923-0036 小松市平面町力125-1 TEL (0761)24-1414 FAX (0761)24-1390

測量機器に関するご質問・ご相談

トプコン測量機器コールセンター 電話番号(フリーダイヤル) **0120-54-1199**

受付時間9:00~17:50
(土・日・祝日・トプコン休業日は除く)

測量計算CADシステム ブルートレンドV

BLUETREND

Ver.6新登場!

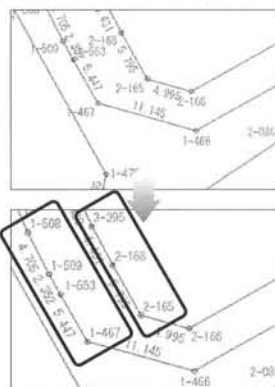
調査士業務の機能を向上し、
圧倒的にスピードUPさせます!

文字自動編集とアシスト

文字の重なりや引出し線の編集が、驚くほど簡単になりました!

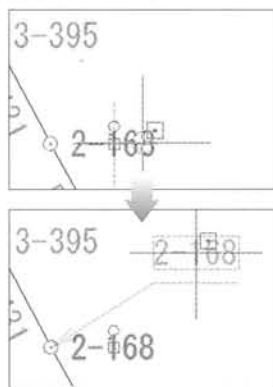
文字の重なり編集

文字の重なりを自動で移動修正します。状況に応じて引出線が表示されます。



引出線の編集

離れに合わせてフレキシブルな引出線へ自動配置されます。



インターフェイスの改善と操作性の向上

大量の手簿整理・複雑形状の地番登録などが効率よく行えます!

手簿の確認

器械点・点検路線を常に一覧表示し、切り替えと確認を簡単に!
(電子野帳接続、基準点測量)



地番の登録

隣接地番の構成点を自動取得!

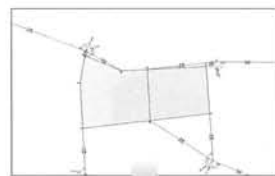


「不動産調査報告書入力システム」との連携

「BLUETREND V」の各種情報から「不動産調査報告書入力システム」へデータ連携が行えるようになりました!

座標値・観測情報の連携

- ・トラバース計算の器械点等の座標値
- ・トラバース放射データなどの観測情報



テキスト化して調査報告書
日調連様式データ書込み



素図も楽々取込み

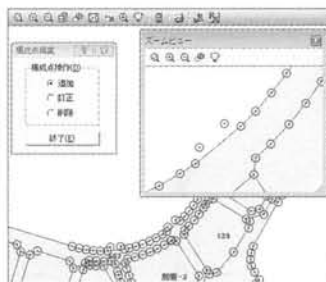
調査素図として、図面を「拡張メタファイル(EMF)」形式で出力



不動産調査報告書入力システム
(日調連提供)

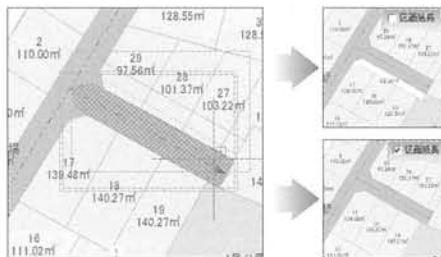


ズームビュー



広範囲と拡大画面が同時に見れ、
拡大縮小の手間を省きます!

宅地割りシミュレーション機能強化



道路移動時に
区画も延長!
CADでの面積調整も
自由自在!

その他にも様々な機能UPを実現しています! 詳しくは下記ホームページにてご確認ください。

福井コンピュータ株式会社 福井営業所

〒910-8521 福井県福井市高木中央1-2501本社ビル5F
Tel.0776-52-1630・Fax.0776-52-1670

札幌・青森・盛岡・秋田・仙台・郡山・長野・新潟・埼玉・高崎・宇都宮・水戸・千葉・東京・立川・横浜・静岡・名古屋・岐阜・富山・福井・京都・大阪・神戸・阪和・岡山・広島・松山・高松・山口・福岡・大分・長崎・熊本・宮崎・鹿児島・沖縄

面倒な宅地割りがズバッとカンタンに!
宅地割りプログラム無料体験版配布中!

最新の情報、体験版のご請求はホームページで、www.fukuicompu.co.jp



会報 いしかわ 第154号

発行所 石川県土地家屋調査士会
金沢市新神田3丁目9番27号
TEL 076-291-1020
FAX 076-291-1371
<http://www.spacelan.ne.jp/~isicho/>
E-mail:isicho@spacelan.ne.jp

編集 広報部

発行日 平成21年4月

印刷所 株式会社 高松印刷

不動産表題登記の専門家

「とちかおくちょうさし」

境界トラブルの解決支援いたします



土地家屋調査士は、土地を識り、人と社会のためにつくす「地識人」でありたいと思います。

- 土地を買う
土地の境界線を公正な立場で確認のうえ境界標識を設置し、土地境界確認書を作成します。
- 建物を建てる
境界立会いや敷地に関する調査・諸手続のお手伝いをします。
- 登記の申請
調査および測量の結果をもとに土地や建物の登記を申請します。

境界問題相談センターいしかわ

「境界問題相談センターいしかわ」は、専門家による民間型の裁判外境界紛争解決機関です。土地家屋調査士と弁護士が、紛争当事者の間に立ち、専門家の立場から問題の調査・整理をし、お互いに納得のいく形での解決を目指します。

電話受付は毎週 月曜日・水曜日

TEL.076(291)1125 受付時間
10時～16時

相談日は毎月第3木曜日

相談手数料5,000円(税込)



石川県土地家屋調査士会

〒921-8013 石川県金沢市新神田3丁目9番27号

TEL.076-291-1020 FAX.076-291-1371

<http://www.ishicho.or.jp/>